

山都

ワークショップ報告



そばの花

2016年1月28日
いいで荘会議室



「e-Deあいこさえ隊」の皆さま14名にお集まりいただき
ワークショップを開催しました。

ワークショップでは3つのグループに分かれて質問票への
回答を基に地域の強み、弱みを議論しました。

ワークショップの振り返り 各グループの意見

山都の強み

- ・ 人間関係の豊かさ
- ・ 1ターン者の多さ
- ・ そば、自然



今後の取り組みとして

- ・ 様々な人同士のコミュニケーションの場をつくる
(1ターン者との交流)
- ・ 高齢者を宝として伝統を継承する場をつくる
- ・ そば祭りをより活かすために宿泊施設の充実
- ・ 耕作断念地の利用

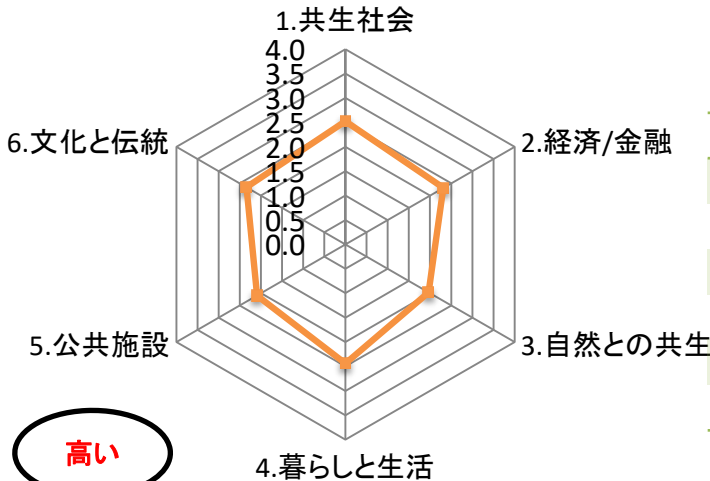


その後の懇親会で
山都そばマラソン
の案が出ました。



質問票の集計結果

計60問近い質問に対する皆さんの回答の結果は以下のようになりました。



1.共生社会	地域の人々による参画と協力
2.経済・金融	地域内経済循環
3.自然との共生	地域環境の保持・保全
4.暮らしと生活	すべての人々の豊かな暮らし
5.公共施設	持続可能な暮らしの支え(インフラ)
6.文化・伝統	文化・伝統の保存と継承
7.主観的幸福度	生活への満足度と将来への希望

項目	1.共生社会	2.経済/金融	3.自然との共生	4.暮らしと生活	5.公共施設	6.文化と伝統	全体
平均値	2.52	2.31	1.96	2.44	2.09	2.34	2.30
分散値	0.36311	0.14265	0.10943	0.16658	0.08209	0.23102	0.56

評価が高かった質問

1. Iターン者の存在
2. 地域の治安・安全
3. 自給自足

評価が低かった質問

1. 農林水産業の後継者
移動に関する公共交通の整備
2. 地域の自然を活かした
エネルギー開発
3. 商工業・サービス業などの
後継者

・山都では、人とのつながりを強くする組織や環境があり、組織は活発に活動している点が評価されました。

・皆さんが山都の自然を愛し、誇りとしているのですが、農業の後継者や自然を活かしたエネルギー開発がまだ十分でないという点で持続可能性に懸念があるという結果になりました。

主観的幸福度アンケート 集計結果



問61 現在の生活にどのくらい満足しているか	問62 地域に対して愛着を感じているか	問63 地域に対してどのくらい誇りを持っているか	問64 現在の地域に住み続けたいか	問65 子ども達にこの地域に住み続けて欲しいか
(人) 	(人) 	(人) 	(人) 	(人)

地域に対し愛着を感じ、誇りを持っている方が多く、全員が今後も住み続けたいと思っておりますが、子ども達に住み続けて欲しいかとの問いへの回答にはややばらつきがありました。

○愛着を感じる点

- ・自然 : 豊かな自然、山里の風景、季節ごとの楽しみがある、伝統的な景観
- ・人 : 人情のよさ、人とのつながりの深さ、地域内交流、仲間、地域コミュニティ、移住者を仲間として受け入れる心の広さ
- ・食/産業 : 食の豊かさ、農林産物、山都蕎麦

○誇りに思う点

- ・自然/歴史/文化 : 雄大な自然、伝統的景観、歴史のある山々
- ・人 : 地域作りに取り組む人々の存在、活動の協力者が多い
- ・都市/他地域の交流 : 都市部の人々が自然や棚田の景観、農産物をほめてくれること、県外から人がきてくれること
- ・その他 : 独自の地域づくり、自給自足できること

○幸せな地域とは

- ・つながりの強いコミュニティ : 弱者に対して配慮出来る仕組み、世代間交流、地域の活力となるような夢や希望をもった人々があふれる
自分も周りの人も生活の心配のない、大人の知恵や技を子どもたちに伝える仕組み
- ・豊かな暮らし : 出来る限り地域内で自給自足できる環境、都会の金銭感覚に振り回されない
- ・自然との共生 : 自然と共生した暮らしが続けられる

両方の集計結果より、幸福度の高い人は共生社会の項目の回答が高い傾向にありました。人とのつながりに満足している人は幸福度が高いのかもしれませんが。